

Join us and start the obee ecosystem

White Paper V1.0 JP

content

1. ダイジェスト	1
2. プロジェクトの背景	2
2.1 デジタル資産の歴史的チャンス	2
2.2 ソーシャルメディアアプリの進化	3
2.3 市場のペイン・ポイント分析	5
2.4 ミッションとビジョン	6
3. データ・シート	7
3.1 製品の位置づけ	7
3.2 製品の機能	8
3.3 製品のデモンストレーション	10
4. 技術的な特徴	11
4.1 エンドツーエンドの暗号化	12
4.2 せいぶつしきべつ	13
4.3 モバイルLBS	14
4.4 クロスチェーンテクノロジ	15
5. 収益モデル	16
6. ロードマップ	17
7. obeeトークンの概要	18
7.1 obeeはっこう	18
7.2 資金使途割当	18
8. ガバナンス構造	20
8.1 財団の背景	20
8.2 財団の自治原則	20
8.3 財団の組織構造	20
9. 免責事項とリスクに関するヒント	21

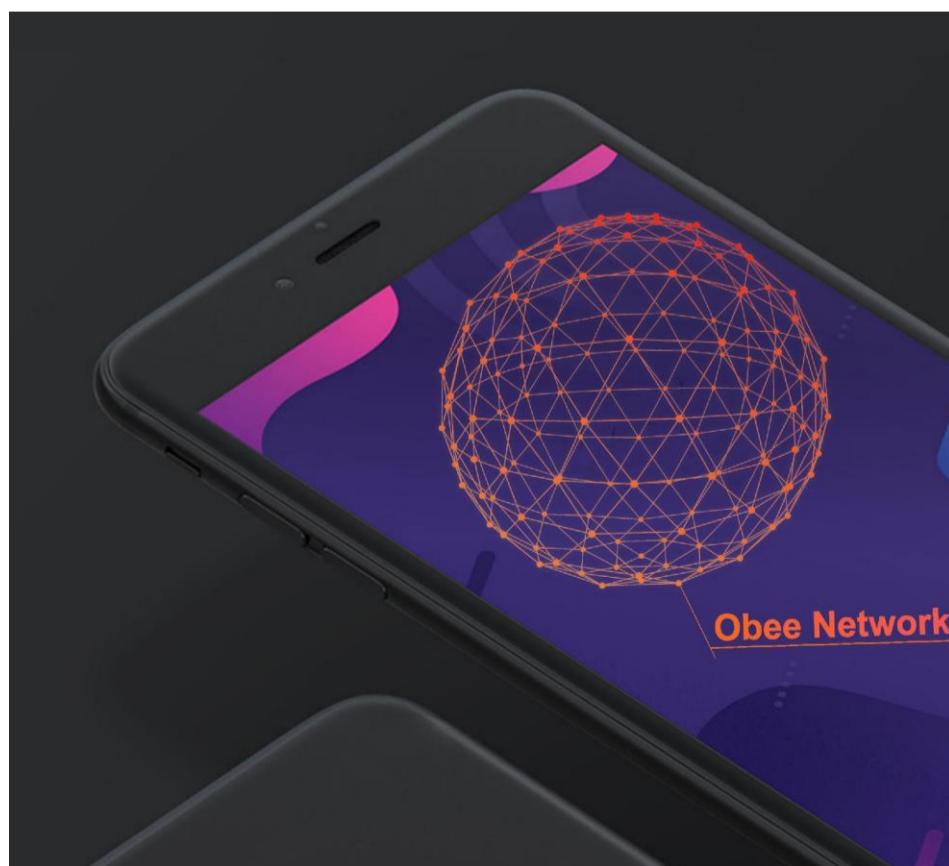
1. ダイジェスト

ブロックチェーンを底打ち技術とするビットコイン、以太坊や各種デリバティブのデジタル資産市場は爆発的な展開を経験している。この市場に存在する価値のあるデジタル資産は現在1300種類を超え、経済規模は6000億米ドルを超える、しかも依然として指数的に成長しており、市場の潜在力は巨大である。

obeeNetworkは、デジタル資産とデジタル・ソーシャルネットワークを含むブロックチェーンのエコ圏を構築しようとしています。それは財布であり、ソーシャルツールであり、取引の絆であり、デジタル経済時代の価値あるルーターである。よく知られているように、社交は人類の最も基本的で頻度の高い行為であり、コンセンサスはブロックチェーン技術の本質的なところにある。私たちの生活の中でいかなる行為もほとんどコンセンサスという哲学的な話題から離れられない。出生証明書、住宅購入、車の購入には人ととの間のコンセンサスが必要であり、社交はさらにこのようなコンセンサスを得るために欠かせない媒体である。社交的なコンセンサスがなければ、すべてのことが面倒になる。ソーシャルネットワークは脱中性化ブロックチェーン技術応用の天然土壌であり、obeeのビジョンはさらにソーシャルメディアとブロックチェーン技術をより良く結合させ、ブロックチェーン技術の発展を実現することに注力している。

obeeNetworkは、将来の「暗号化されたデジタルエコノミー・ソーシャル」、デジタルエコノミー・ソーシャル=デジタル資産デジタルアイデンティティデジタル・ソーシャルに対応するように設計されています。

今後数年以内に、obeeNetworkは社交分野から千万人以上のユーザーを獲得し、1000億元規模のデジタル資産を活性化できると予測している。



2. プロジェクトの背景

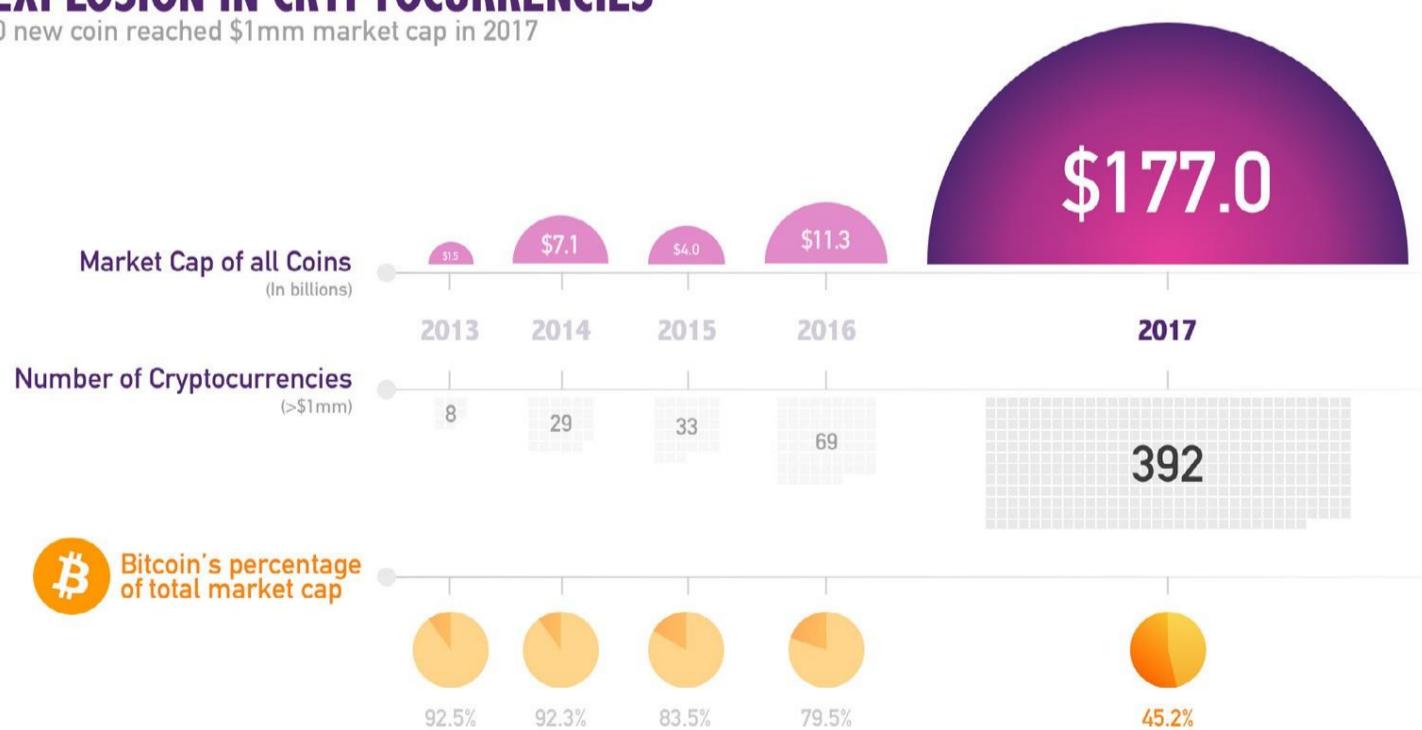
2.1 デジタル資産の歴史的チャンス

2008年に中本聰氏が発表したビットコインの白書「ビットコイン：ポイント・ツー・ポイントの電子現金システム」は9年近くになり、チューリングが完備したスマート契約のブロックチェーンでの実現や、グラフエン技術の取引性能向上による電撃ネットワークのチェーン下の取引ルートの整備など、ブロックチェーン技術の革新が進んでいる。ブロックチェーン技術のイノベーションが短期間でここまで重視されるようになったのは、既存の取引モデルを変えて世界の各産業仲介機関、決済/清算会社など中性化サービスプロバイダのニーズから脱却させ、底辺から社会構造を再構築する画期的な変革技術であると多くの人に思われているからだ。「デジタル経済の父」であるDon Tapscott氏が述べているように、ブロックチェーン技術は第二世代のインターネット技術として、各業界を大きく変え、価値あるインターネット時代を切り開くことになるだろう。ブロックチェーン技術のイノベーションが短期間でここまで重視されるようになったのは、既存の取引モデルを変えて世界の各産業仲介機関、決済/清算会社など中性化サービスプロバイダのニーズから脱却させ、底辺から社会構造を再構築する突発的な変革技術であると多くの人に思われているからだ。

同時にブロックチェーンを技術基盤とするビットコイン、以太坊、そして各種デリバティブのデジタル資産市場は爆発的な展開を経験している。また、CoinMarketCapのデータによると、2019年10月時点で、市場で取引可能なデジタル資産の種類は3000種類を超え、経済規模は6000億米ドルを超え、依然として成長しており、デジタル資産分野の市場潜在力は大きい。CoinMarketCapによると、2019年10月10日時点のビットコイン単価は8550ドルで、2016年末の968ドルから883.26%上昇している。これと共に、ウォン安ドル安は7.98ドルから297.93ドルへと30倍以上も急騰した。ブロックチェーンのデジタル資産の価値規模は、法定資産に基づく資産価値の合計をはるかに上回ると予想されています。

THE EXPLOSION IN CRYPTOCURRENCIES

Over 300 new coin reached \$1mm market cap in 2017



2013年～2017年のブロックチェーンデジタル資産の種類と経済体量の推移

2.2 ソーシャルメディアアプリの進化

ソーシャルメディアの発展の変遷を見ると、4つの主要段階を経ている。



第一段階 ソーシャルメディアが登場した時、主に人と人のポイントツー?ツー?ポイントのコミュニケーションを実現するために、SMS、Emailなどの大衆ユーザー向けの標準的なポイントツー?ツー?ポイントのコミュニケーション機能が登場した。

第二段階 ソーシャルメディアの利用者ニーズの台頭に伴い、QQ、Messenger、Facebook、twitter、Wechatなどのアプリをベースにしたソーシャル機能展開型ソフトで、主な機能はポイントツー?ツー?ポイント、グループ、写真共有、スペースシェアがメインとなり、利用者向けに配信されている。



フェーズ3 ソーシャルメディアはすでに規模を形成しており、金融、チャット、音声、動画、ライブ配信、ソーシャルネットワークをテーマに、より多くの機能を発揮し、軽量化を主な目的とすると同時に、ネットの最適化、現象レベルの動画共有、ネットライブ配信が生まれ、震音、闘魚などの入り口型ソーシャルメディアネットワークが出現している。

フェーズ4 ブロックチェーンの概念の提起と現在のスマートコントラクト市場の発展成熟に伴い、中心化、インターフェースの開放性、情報改ざん不可などのメリットが徐々に普及し、将来的には obeeNetwork が次世代の現象級ソーシャルメディアネットワークとなることが予想される。

ソーシャルメディアアプリの進化の4つの主な段階

なまえ	特徴
SMS	ショートメッセージは、デジタル移動通信システムに伴う電気通信サービスであり、移動通信システムのシグナリングチャネルとシグナリングネットワークを介して、文字またはデジタルショート情報を転送し、非リアルタイム、非音声のデータ通信サービスに属する。
Email	電子メールとは、電子手段で手紙や書類、資料などの情報を送る通信方法をいう。電子メールは電話と郵便の特徴を総合しています。情報の伝送速度は電話と同じぐらい速く、手紙のように受信者に文字記録を受信させることができます。電子メールシステムはまた、コンピュータベースのメール発信システムとも言われています。
Messenger	MSN Messengerはマイクロソフトが発売したインスタントメッセージングソフトで、MSNを使用しています。Messengerは他の人とテキストチャット、音声会話、ビデオ会議などのリアルタイムコミュニケーションを行なうことができます。また、このソフトウェアで連絡先がオンラインであるかどうかを確認することもできます。
Facebook	Facebookは世界ランキングトップの写真共有サイトで、2013年11月現在、毎日約3.5億枚の写真をアップロードしています。Facebookは2012年5月までに約9億人のユーザーを持つ。
twitter	Twitter（通称ツイッター）は米国のソーシャルネットワークとマイクロブログサービスのウェブサイトで、世界最大のアクセス数の10サイトの一つです。マイクロブログの典型的な応用です。
QQ	テンセントQQはオンラインチャット、ビデオチャット及び音声チャット、点対点断点更新ファイル、共有ファイル、ネットワークハードディスク、カスタマイズパネル、遠隔制御、QQメール、転送オフラインファイルなどの様々な機能をサポートしています。
Wechat	WeChatは、通信事業者を横断して、オペレーティングシステムプラットフォームを横断して、インターネットを通じて無料の音声メール、ビデオ、画像、テキストを迅速に送信するアプリケーションを提供するテンセントです。また、ストリームのメディアコンテンツを共有するための資料と、位置に基づくソーシャル共有を使用しても良い。
MicroBlog	マイクロブログはユーザー関係に基づくソーシャルメディアプラットフォームであり、ユーザーはPC、携帯電話などの多種類のモバイル端末を通じてアクセスでき、文字、画像、ビデオなどのマルチメディア形式で、情報の即時共有、普及インタラクティブを実現する。

主流ソーシャルメディア製品の実例

2.3 市場のペイン・ポイント分析

ソーシャル・ネットワーキングはインターネットにとって最も重要な基盤であり、ユーザーの日常的で高頻度のインタラクション、インタラクションの頻度があるソフトウェアの将来性を決定し、ソーシャルネットワーキングのコアバリューとして、ブロックチェーンとソーシャルネットワークを結びつける多くのプロジェクトがうまく統合されていないと同時に、伝統的なソーシャルプラットフォームであるReddit、FacebookとTwitter、QQ、wechatが独占的な市場を形成している。テクノロジーによって市場が決まるのではなく、ユーザー量として市場が決まる業界は、ユーザリソースを素早く統合して活発なコミュニティを形成できれば、十分に良いソーシャルプラットフォームになります。しかし、現在、ブロックチェーン技術を組み合わせたソーシャルプラットフォームは、ソーシャルネットワークが持つべきユーザ数を獲得していない。次のような問題があります：

1、コミュニティの活性化は安定していません

従来のソーシャルウェアの独占性が影響し、今では中性化されたソーシャルネットワークをわざわざ利用しない人も多いようです。多くのソーシャルプラットフォームは、そのために大きな経済的コストと多くの時間を費やしてプラットフォームを発展させてきましたが、最後には多くの場合、発展の進度に苦しめられ、最終的には立ち消えになってしまいます。このようなインターネットの大環境でブロックチェーン技術によって居場所を得ようとすると、非常に難しい問題であることは想像に難くありません。

2、コミュニティとビジネス価値の衝突性は初期には解決できなかった

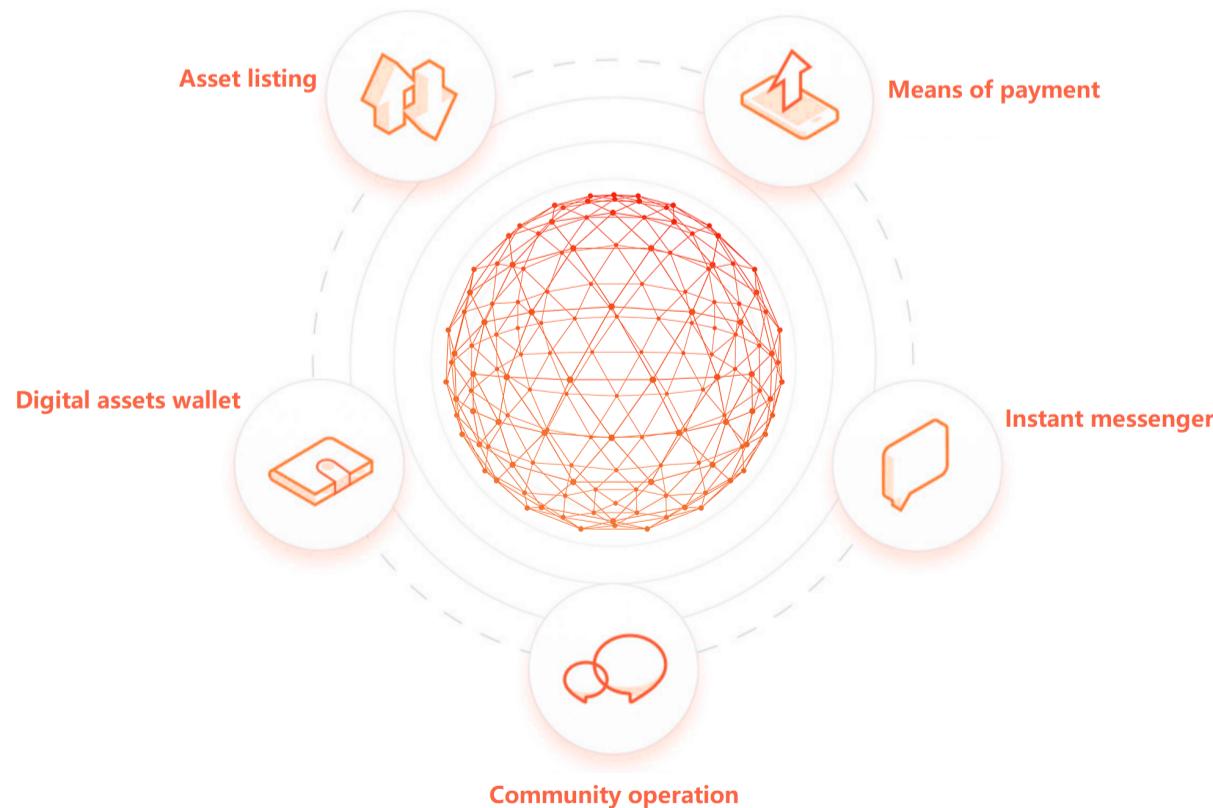
多くの伝統的な社交プラットフォームを分析したところ、初期にはビジネス価値を見出すことができない場合が多く、プラットフォームがかなり大規模に発展した場合にのみ、ユーザー数の増加によって副業の利益をもたらすことができる。もし最初の段階で利益が見つかなければ、コミュニティのプラットフォームは自分の資金で発展を維持するしかなく、十分なユーザー数がある1日まで堅持することができるが、発展期のこの時間帯は常にプラスの利益をもたらすことができないか、トップ企業に制限されており、ましてや融資後の短期的に社交の領域で安定した収益源を見つけることはできない。

3、コミュニティの話題が盛り上がらない

多くの従来のソーシャルウェアでは、最適な自由度を保つことができない話題が多く、つまり多くの興味深い話題の中から短時間でホットな話題を抽出することが困難であった。全ネット的なホットな話題があるとあるソフト上で議論され、自然とこのソーシャルウェアの発展に極めて強いゲイン性を持つことになる。

4、ブロックチェーン技術とソーシャルウェアを組み合わせたねじり合い問題

私たちが新しいブロックチェーン技術をソーシャルネットワークに応用すれば、多くの衝突の問題が明らかになります。例えば、ユーザーのプライバシー情報を他人に見られないようにするには、どのようにすればよいのか、ユーザーの匿名性を保証すると同時に、匿名ユーザーが我々のプラットフォームを通じて違法な犯罪活動を行うのを避けることができるのか、社交の効率が悪いという問題に直面した時に、我々が与えるインセンティブが有効であるのかなどです。



2.4 ミッションとビジョン

obeeNetworkが登場したのは、未来の「暗号化デジタル経済社会」にサービスを提供するためだ。 未来、デジタル経済社会=デジタル資産デジタルアイデンティティデジタル・ソーシャル。



図4、デジタル経済社会=デジタル資産デジタルアイデンティティデジタル・ソーシャル

長期的な技術の蓄積と市場経営経験に基づいて、我々はobeeNetwork製品を通じて、ソーシャルネットワーキング、支払い、口座振替、活動などの一連の行為を一つの応用の中に集約し、すべてのデジタル資産を連結し、投資家の通信、資産、取引身分などの各段階の安全なプライバシーをワンストップで保障することを望んでいる。

obeeNetworkはブロックチェーン、モバイルインターネット、バイオメトリクスと機械学習を組み合わせ、世界中の人々に革命的で分散したデジタル資産のエコサービスを提供している。 背景、場所、収入にかかわらず、デジタル・ソーシャルネットワークに参加できます。 将来、obeeNetworkベースの製品と自主開発の主要チェーンは、発展途上国的新世代の生態社交インフラを構築するのを助けることができる。

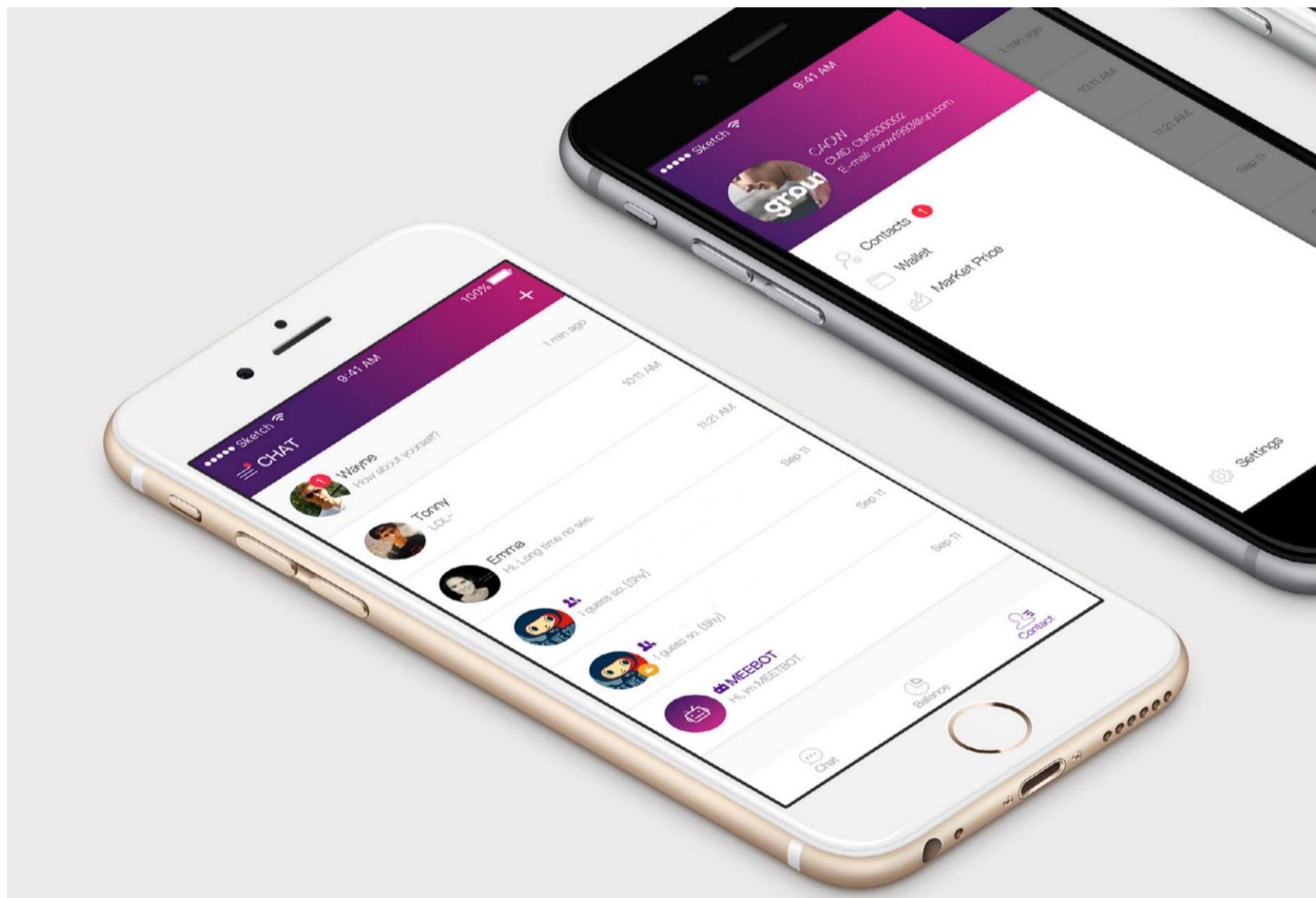
3. データ・シート

3.1 製品の位置づけ

oobeNetworkは、デジタルエコソーシャルネットワーク、デジタルアイデンティティとデジタル資産を含むブロックチェーンエコ圏を構築しており、民主的で自由でオープンなAPIのマルチシーンを持ち、デジタル資産の財布を内蔵するソーシャルツールだ。

oobeNetworkは財布であり、アイデンティティ-IDであり、ソーシャルツールであり、取引の絆であり、デジタル経済時代の価値あるルーターである。

oobeNetworkはブロックチェーン技術をソーシャルメディアに組み込むことで、新世代の熱と特色に富んだソーシャルメディアを立ち上げることを目指している。これまでのブロックチェーンとソーシャルメディアの結合の事例を踏まえ、oobeは暗号通貨インセンティブの方式でプロジェクトの枠組みモデルを結合させ、ブロックチェーンとソーシャル通信分野の完全な結合をより完璧に実現し、従来のブロックチェーンの社交結合が完璧ではなかった問題を解決する。



3. 2 製品の機能

1. 多資産軽錢包

o b e e N e t w o r k を使用すると、複数のデジタル資産の管理、振替、支払いを1つのアプリケーションで実行できます。コミュニティの民主化を通じた通貨へのアクセスを可能にしています、o b e e N e t w o r k をより多くのデジタル資産とユーザーに提供します。

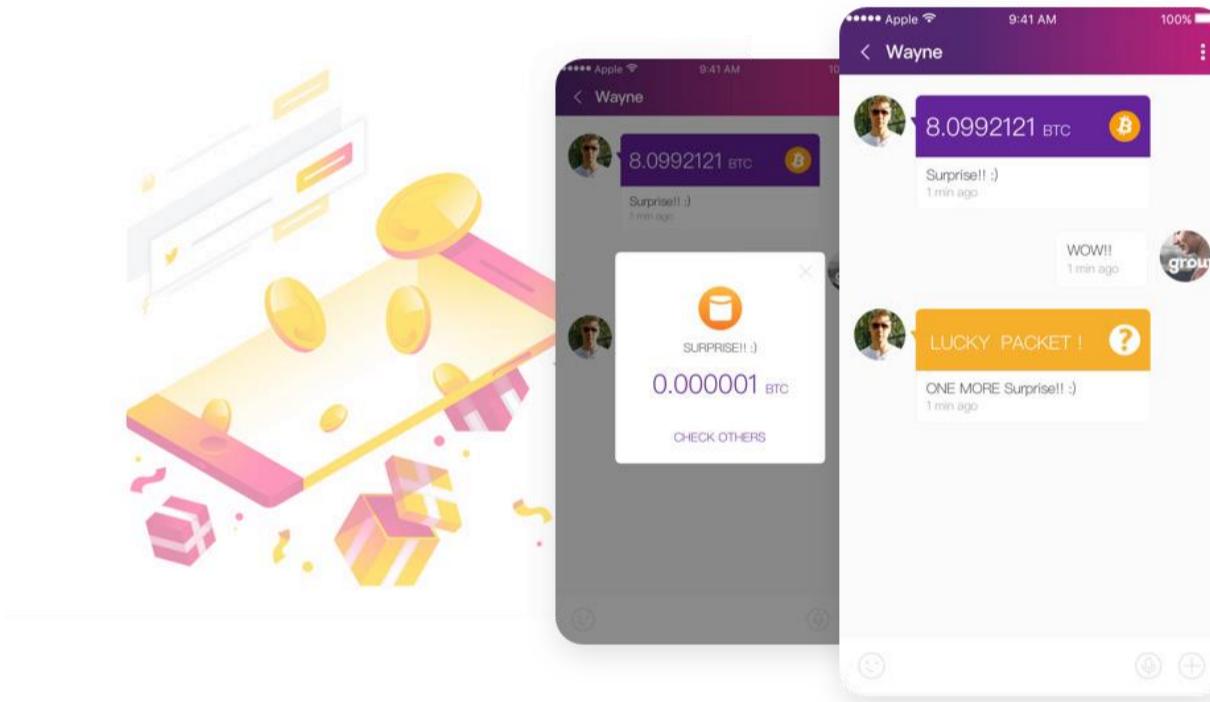
製品の初期段階では、次の通貨をサポートします：

製品の初期段階では、次の商品はサルトされていません。

今後は、他の良質な通貨を段階的にオンライン化していきます。

2. コミュニティー?メディア?プラットフォーム?アワード?システム

o b e e N e t w o r k プラットフォームのユーザーは、コメント者がo b e e トークンを使用して投稿者に賞品を与えることができます。投稿者は賞品を受け取ると、自動的に投稿者のウォレットに保存されます。



3. 密談

o b e e N e t w o r k はエンドツーエンドの暗号化技術を利用して、安全な暗号化によって友人に情報を送信し、どの第三者もチャット情報を取得できないようにするとともに、閲覧後焼却、スクリーンショットなどのプライバシー支援機能を提供している。

Q. ブロックチェーンパスポート

o b e e N e t w o r k は、指紋、顔、音声などの生体特徴を人工知能技術で識別し、ユーザーのタグとしてブロックチェーンに蓄積し、ユーザーがパスポートや免許証、身分証明書情報を提供することなく、依然として身分認証を実現している。ブロックチェーンによる身分認証はデジタル経済の世界の通行証に発展します。

5. 任務賞与

obeeNetworkソーシャルチェーンのスマートコントラクト技術に基づき、利用者はプラットフォーム上で紛失を探すなどの同様のサークルタスクを投稿でき、タスク達成者はパブリッシャからタスク賞を受けることができる。パブリッシャを匿名で保護し、不正行為を防止する。デジタルウォレットを中性化してプレイヤーの資金を確保します。

6. ワンタッチ取引

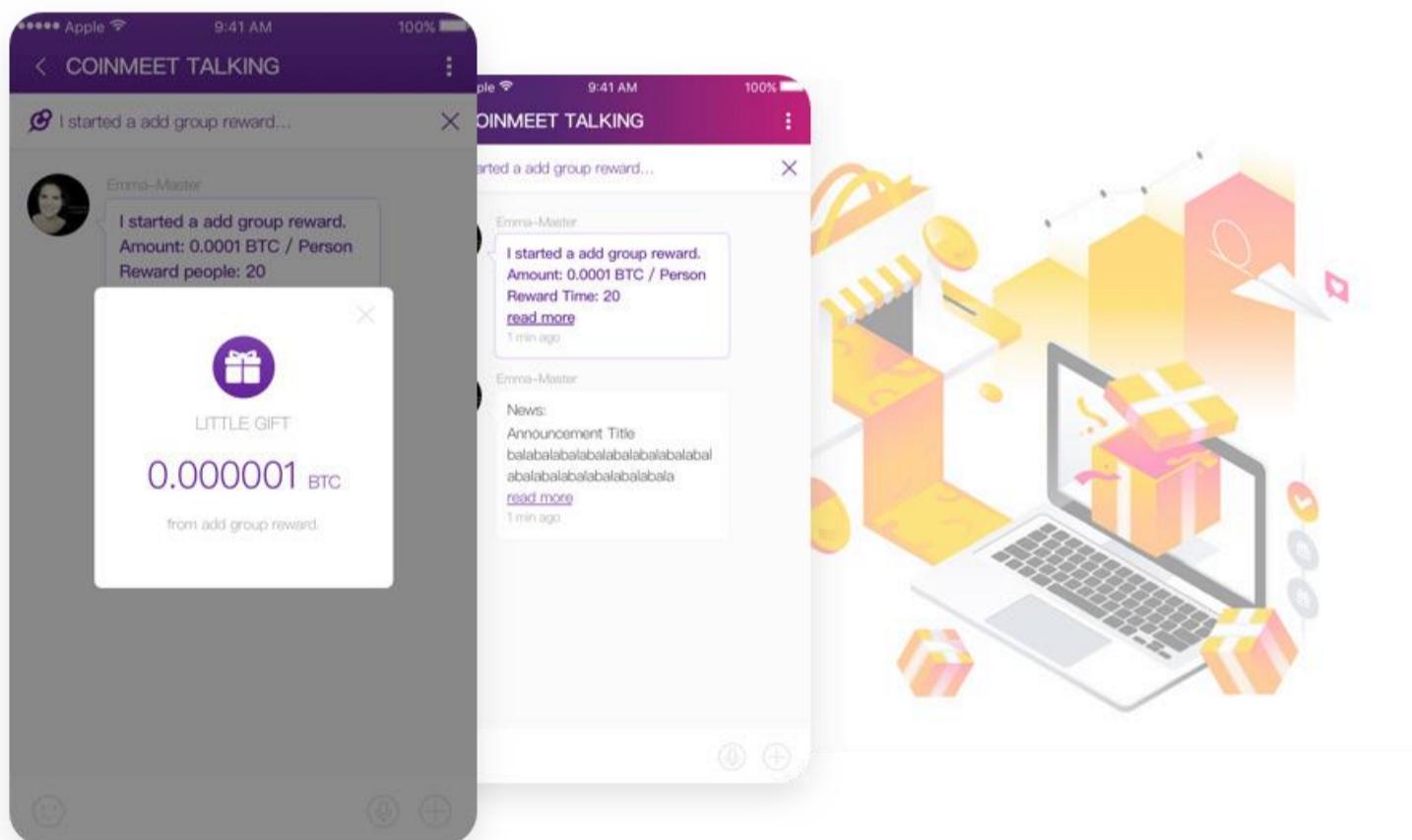
obeeNetworkは取引所価格APIにアクセスすることで、ユーザはウォレット市場や取引動向において、OTC取引を実現し、ワンタッチ売買を行うことができる。

7. コメントは鉱業システムです

ユーザはコミュニティプラットフォームでコメントに参加する、すなわちマイニングに参加することで、証明方式を参照して記帳に参加するユーザに関連するトークンを割り当てる。このうち、レビューに参加するユーザとobeeコインposの質権保持者は、寄与値と相関するアルゴリズムによって分配される。

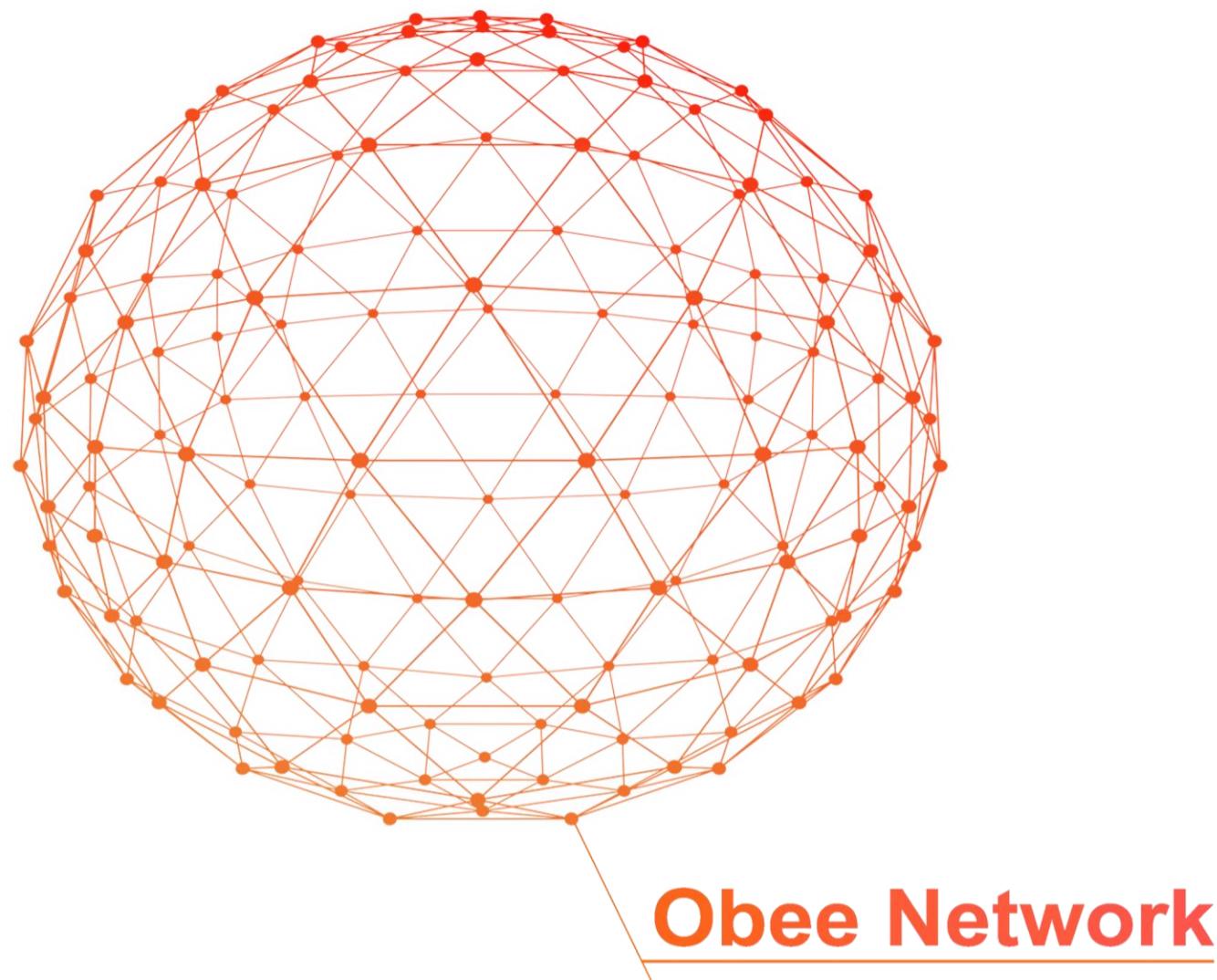
8. ゲーム？エンターテインメント

将来的にobeeNetworkは、複数のゲーム・エンターテインメントを内蔵し、お年玉の発行、予想競争、宝くじの獲得などの機能を通じて、外部トラフィックを大量に吸い上げ、ユーザーのデジタル資産の利用頻度を十分に活性化させる。



ゲーム・エンターテインメント

3.3 製品のデモンストレーション



ObeeNetworkは、ブロックチェーンに基づく新しいインセンティブコミュニティプラットフォームです。人々はObeeNetworkのソーシャルプラットフォームで自分のコミュニティを簡単に作成できます。ユーザーは、コンテンツを投稿したり、フォーラムに参加したりすることで、ObeeNetworkトークンインセンティブを取得できます。効果的な活動の証明を通じて、効果的な活動ObeeNetworkは、より公正で公正なインセンティブモデルを作成し、コンテンツはコミュニティに限定されません。ObeeNetworkは、中立化ネットワーク全体をより適切に接続し、関心のある人々はステーションの外で参加できます相互作用。

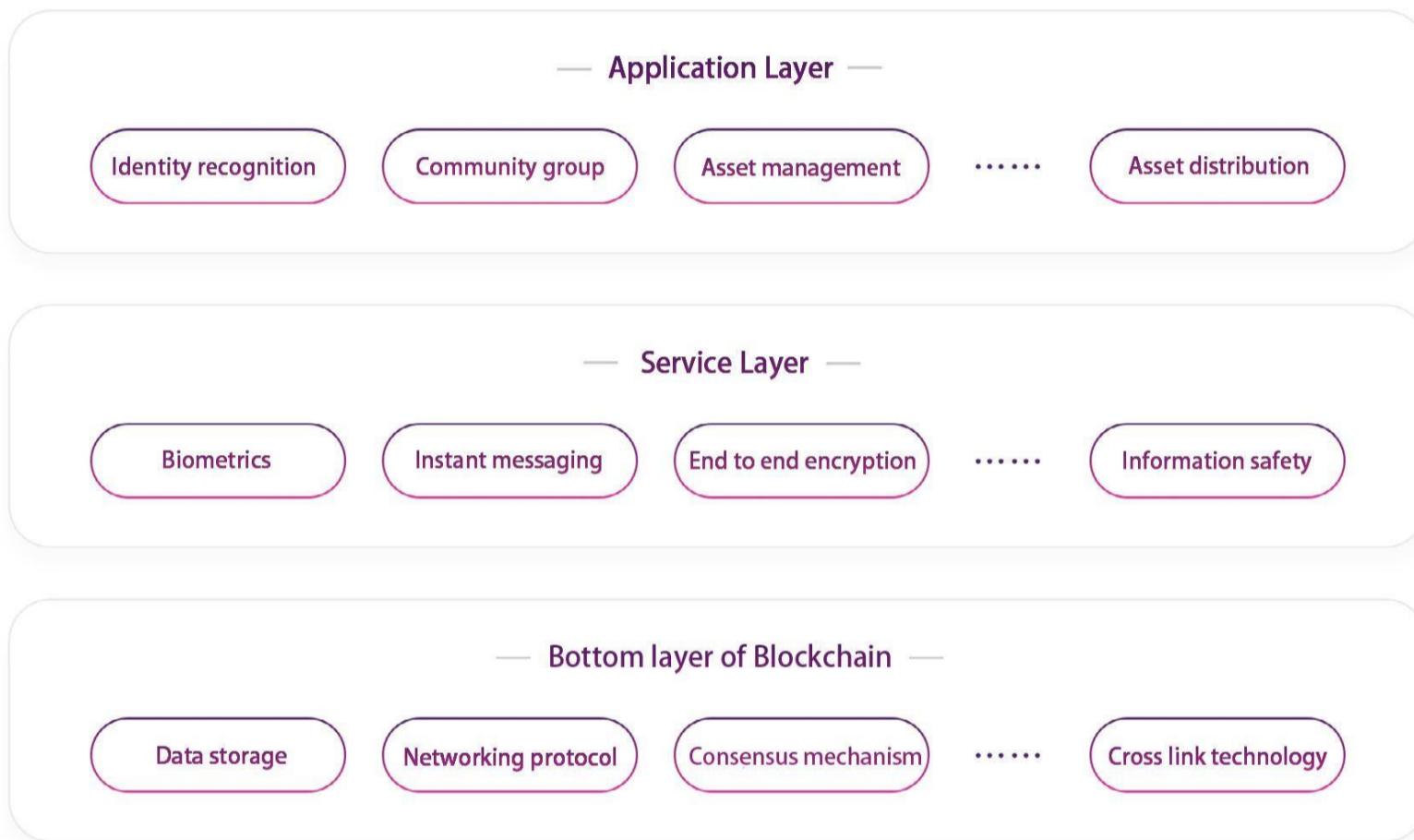
ObeeNetworkはスマートコントラクトに多くの制約を書き込みます。すべてのユーザーが独自のコミュニティを作成し、コミュニティの一意性と所有権をマークできます。コミュニティ情報もObeeNetworkスマートコントラクトに書き込まれます。同時に、商品取引やコミュニティプラットフォームでの求人情報など、多くのデータがObeeNetworkのスマートコントラクトに保存されます。

同時に、プラットフォーム上の各ユーザーによって公開されたすべてのデータがデータ量証明のソースとして使用されます。つまり、レビューはマイニングです。つまり、ブロックチェーンネットワークの証明方法はpos + powメソッドを使用してマイニングします生成されたコインは、インセンティブを通じてプラットフォームユーザーと無料の市場所有者に配布されます。obeeNetworkは、このフレームワークを使用して、ブロックチェーンとソーシャルネットワークのより良い統合を実現し、2つのテクノロジーのねじれを解消することを計画しています。

4. 技術的な特徴

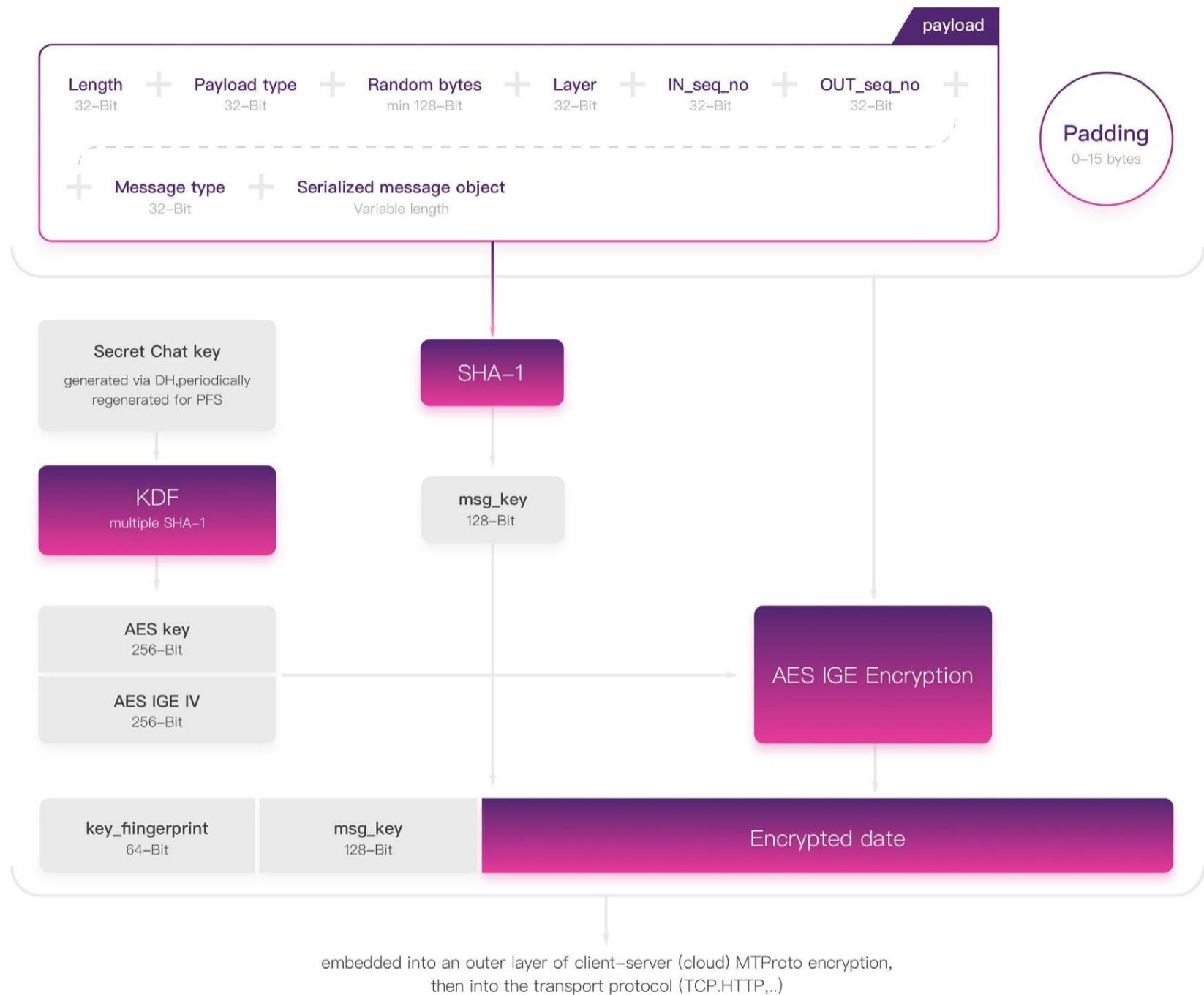
obeeNetwork全体の技術フレームワークは、ブロックチェーンの最下位層、中間サービス層、上位アプリケーション層の3つの層に分かれています。

アーキテクチャ全体では、エンドツーエンドの暗号化、バイオメトリクス、モバイルLBS、およびクロスリンクテクノロジがobeeNetworkの技術的な特長となっています。



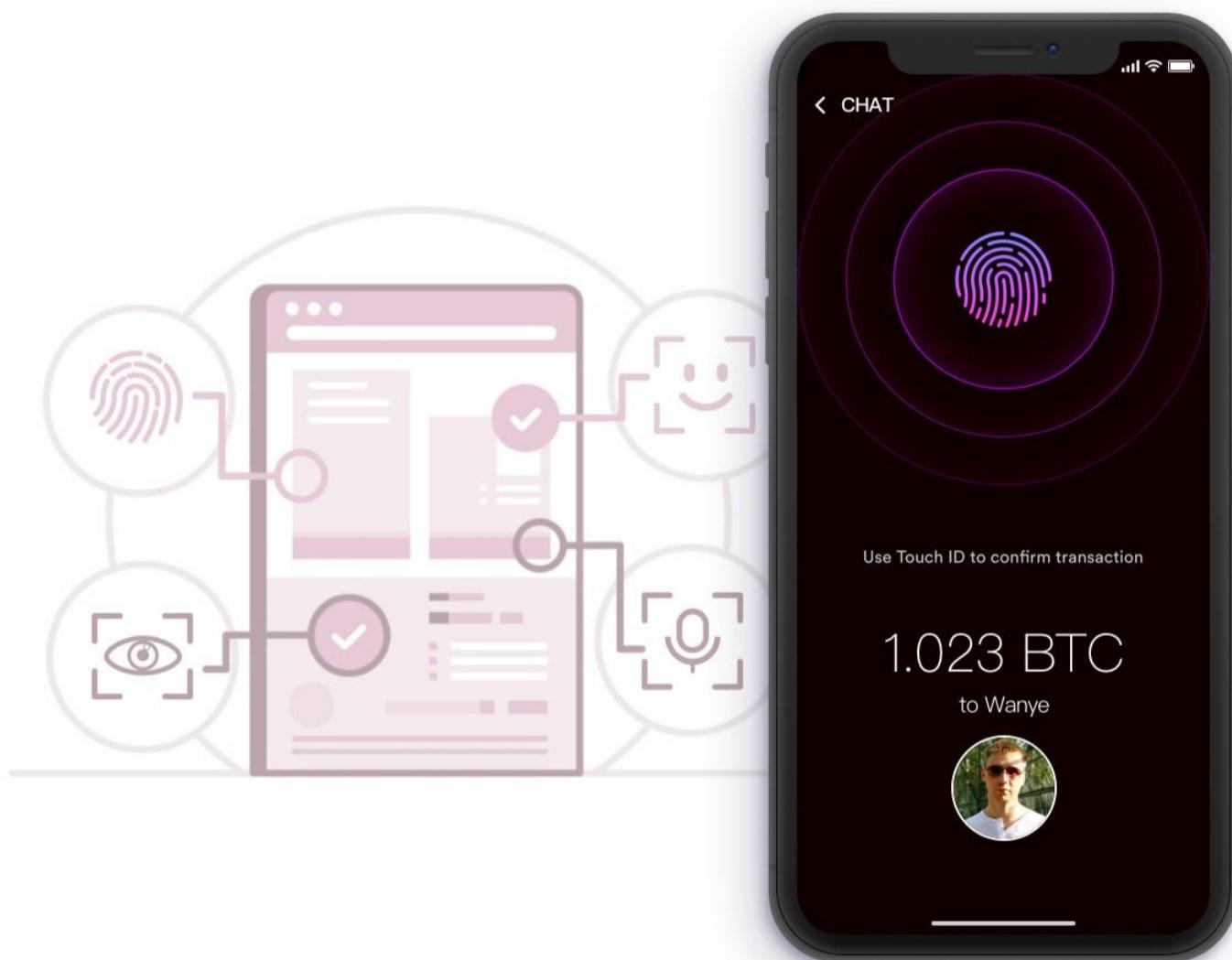
4.1 エンドツーエンドの暗号化

oobeNetworkは、暗号学などの技術を用いてエンドツーエンドのメッセージの暗号化通信を実現し、クライアントの通信情報のプライバシーと盗聴性を保護することで、我々のユーザが安全なネットワーク通信環境でコミュニケーションを行うことを可能にしている。



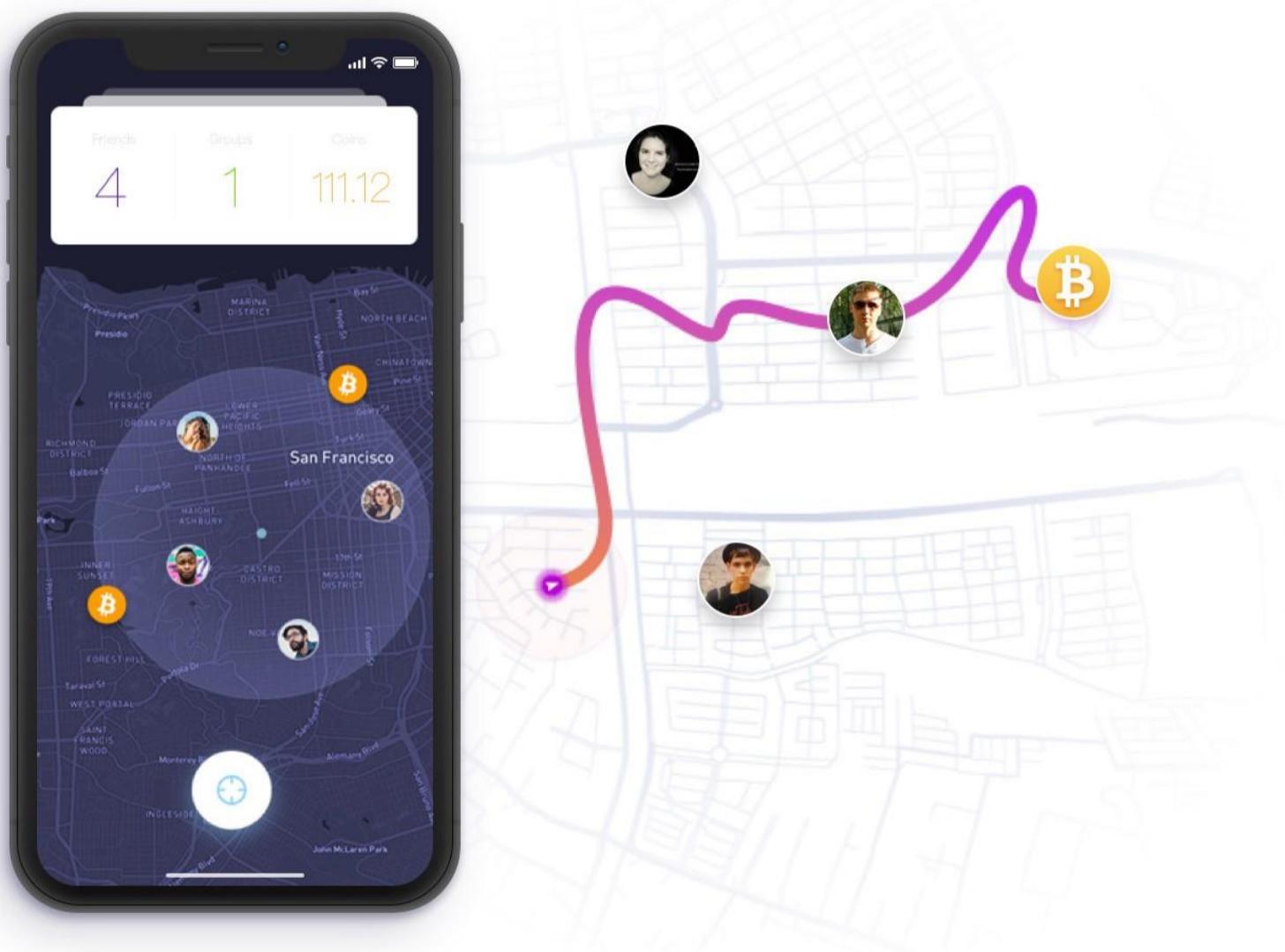
4.2 せいぶつしきべつ

obee Network バイオメトリクスを応用し、光学、音響、圧力センサにより指紋、声紋、顔などの生体特徴データを採取し、人工知能知能技術と密接に連携して個人の同定を行う。2つの技術を組み合わせることで、システムはユーザのパスポートや身分証明書などの情報を知ることなく、ユーザの身分証明書を認証することができる。



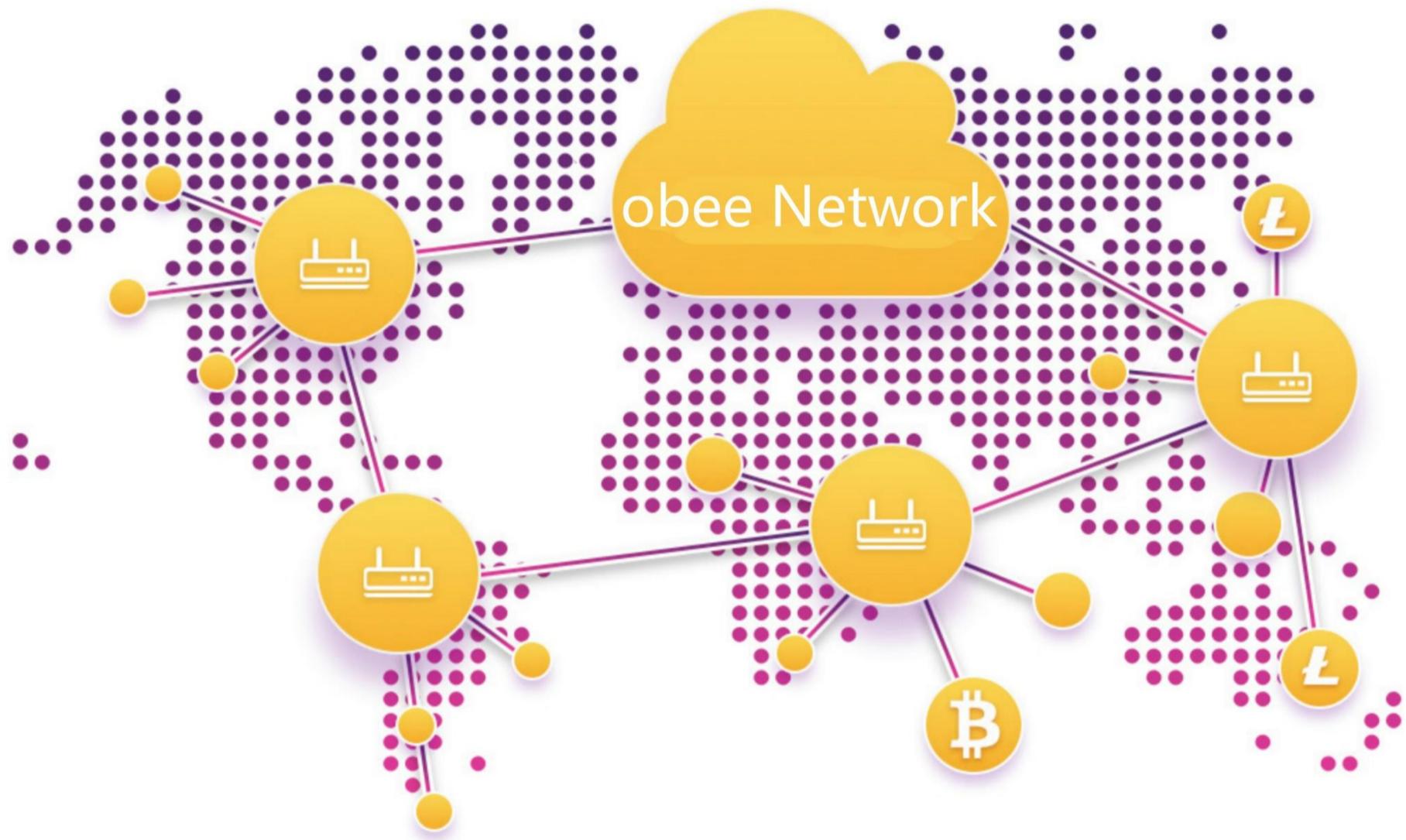
4.3 モバイルLBS

oobeNetworkは位置に基づく地理情報技術を通じて、大量のローカリゼーション、シーン化、ソーシャル化されたサービスを提供し、宝探し、交友場外取引、消費者への支払いなどの応用シーンを実現している。



4.4 クロスチェーンテクノロジ

obeeNetworkは、基盤となるブロックチェーン技術の革新によってデジタル資産のチェーン間取引を可能にし、ユーザーが特定のobeeNetworkアドレスを使用して複数のデジタル資産間で自由に交換できるようになります。



5. 収益モデル

りとくほうしき	せつめい
トラフィックの集中管理を排除	製品は、トラフィックCPCトラフィックの配信を促進するために、一部の高品質なプロジェクトを不定期に選別し、プロジェクトチームに一定額の料金を請求します。
振替サービス料	利用者は資産の取引口座振替操作を行う際、プラットフォームの一定額の手数料を支払う必要がある。
高度な機能の使用料	グループ数の上限を増やしてグループ内エンターテイメントゲームを立ち上げるなど、高度な機能を搭載しており、料金を支払ってゲームを開始する必要があります。
ゲームサービス料	将来的には、ユーザーにサービス料金の一部を請求するゲーム・エンターテインメントが提供される予定です。
その他の収入	様々な自己資源の出力によって得られるその他の収入。

obeeの収益モデル

6. ロードマップ



7. obee トーケンの概要

7.1 obeeはっこう

obee Network プラットフォームのトーケンはobeeで、発行総量は300億枚で、いつまでも増発しません。初期obeeはERC 20が発行した非中性化ブロックチェーンデジタル資産に基づいており、将来はオンラインで自主的に開発した公開チェーンに置き換えられます。

20%	20% of the total amount of tokens is used as the ecological construction reserve for landing in major exchanges, connecting to major global platforms, brand promotion, and user promotion.
35%	35% of the total tokens will be allocated to cornerstone investors and institutional investors, of which 7% will be pre sold by private investors, and the funds will be used for project construction.
15%	20% of the total amount of tokens will be given to the foundation for project development and market maintenance, and will be unlocked year by year.
5%	5% of the total amount of tokens will be given to the operation team to promote the obee project and unlock it year by year.
5%	5% of the total token amount goes to the technical team for the overall development of the obee project, unlocked year by year.
20%	20% of the total tokens will be awarded to the community, which will reward the community people, organizations and long-term investors who make unremitting efforts for obee ecology.

obee Network投資計画:

1、敷石と私募ファンドのTOKEN売却が全体の35%に当たる105億枚を占めた。

キーストーンと投資家ロック保管:初期化ロックを25%解除し、その後は毎月15%ずつロックを解除します。

2、チームが持っているトーケンは初期にはロック状態になっていた。

解錠形式で発給します。6ヶ月ごとにロックを解除して25%の精確トーケンを使います。

7.2 資金使途割当

obee Network投資を受けた資金の具体的な配分案は以下の通り:

1、開発費obeeNetworkの公開チェーン開発には多くのモジュールが含まれており、プラットフォームの開発には技術開発、人材募集、チーム建設が必要であり、十分な開発費で計画通りにプロジェクトを進めることができる。

2、マーケティングおよび運営費:コンテンツ?プラットフォームの競争が激しいため、十分なマーケティングおよびプランディングが重要です。これには、従来のコンテンツ業界やブロックチェーンの愛好家を対象としたobeeNetworkプラットフォームの継続的な普及と普及、マーケティングの資金支援、obeeNetworkと重点提携プラットフォームの急速なユーザー増加の確保が含まれます。

3、生態建設デルは資金を投入し、開発者とビジネスを支援し、全世界の各大コンテンツ配信プラットフォームを開拓し、中心化した生態価値ネットワークを構築する。

4、法律コンサルティングとリスク管理: ブロックチェーン業界は、法律によって厳格に規制されているため、規制要件に準拠した法律業務を確実に行うためには、多くの資金が必要です。また、将来発生する可能性のある突発的な法的問題に備えて、緊急時の資金の一部を確保する必要があります。 obeeのリリースについてのご意見をお寄せいただくため、プロフェッショナルコンサルタントをお招きします。

5、その他: 上記以外の諸経費および引当金

20%	20% of the total amount of tokens is used as the ecological construction reserve for landing in major exchanges, connecting to major global platforms, brand promotion, and user promotion.
35%	35% of the total tokens will be allocated to cornerstone investors and institutional investors, of which 7% will be pre sold by private investors, and the funds will be used for project construction.
15%	20% of the total amount of tokens will be given to the foundation for project development and market maintenance, and will be unlocked year by year.
5%	5% of the total amount of tokens will be given to the operation team to promote the obee project and unlock it year by year.
5%	5% of the total token amount goes to the technical team for the overall development of the obee project, unlocked year by year.
20%	20% of the total tokens will be awarded to the community, which will reward the community people, organizations and long-term investors who make unremitting efforts for obee ecology.

8. ガバナンス構造

8.1 財団の背景

obee networkの発起チームはブロックチェーンの分散自己組織化建設の実質を高く認め、同時に伝統的な会社制の管理構造の要素を吸収し、obee networkの開発と普及戦略の効率的な実施を高め、ブロックチェーンの設計理念に合致しない状況を回避する。財団のすべての運営は、地域の法令および規制要件に準拠しています。財団の設立後、適切なコミュニティメンバーを選び、財団機能委員会に参加し、実際の管理と決定に参加する。

8.2 財団の自治原則

obee Network財団のガバナンス構造は、オープン・シェアリング、サステナビリティなどの理念を考慮し、自治構造について原則を示している。

1. 透明性と監督

また、財団は、定期的な報告および不定期のプレスリリースを通じて、財団の運営状況と進捗状況をコミュニティ参加者に公開および報告しています。

2. 中央管理と分散管理の融合

財団は管理構造において、戦略決定委員会の最高決定権限および重大事項の集中議事権限などを含む一定の中心化管理の核心思想を取り入れ、コミュニティ全体の運営の効率を高め、効率性と公平性がもたらす影響をバランスさせる。

3. テクノロジーとビジネスの共存

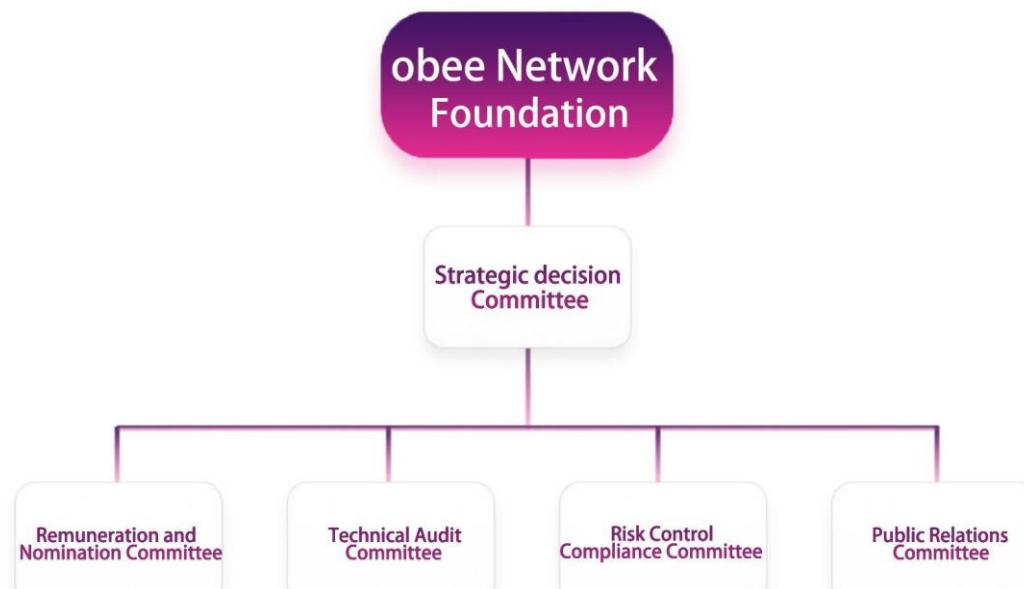
財団は、ビジネスの世界で認められることを最大限に活用し、収益を可能な限り obee Network コミュニティに還元したいと考えています。

4. 生態建設を指向する

財団が構想している生態圏では、価値は拡大する閉ループの中で様々な活動を伴う高速伝送を行っている。

8.3 財団の組織構造

財団の設立は、従来の事業体の運営を参考に、戦略決定委員会、報酬・指名委員会、技術審査委員会、風力規制遵守委員会、公共関係委員会などの機能委員会を設置し、日常業務や特別な事項に対応



9. 免責事項とリスクに関するヒント

本節を注意深く先読みしてください！

対応に疑問をお感じの方は、法律、財務、税務、その他の適切な専門コンサルタントにお問い合わせください。

標準免責事項

このホワイトペーパーの内容は、一般的な情報および宣伝目的のための参考としてのみ使用されるものであり、このホワイトペーパーの内容に法的拘束力はありません。

このホワイトペーパーに記載されている情報は、oobe Networkまたはoobeに関する商業的、法律的、財務的、または税務上の推奨事項とはみなされません。独自の法律、財務、税務、またはその他の専門コンサルタントに、Obee Networkまたはoobeとその両方の運用およびビジネスについて相談してください。oobeをご購入の際は、oobeおよびoobeのリスクおよび不確実性を十分に理解して理解していただきたいと思います。

本白書は、いかなる形式の株式募集説明書又は要約文書を構成するものではなく、また証券の要約書を構成するものでもなく、証券の提供を要請し、いかなる司法管轄区域に投資する証券又は如何なる要約製品、物品又は資産（数字又はその他）の売却を勧誘するものでもない。このホワイトペーパーは、oobeによるoobeの売却に関するオファーを構成するものではありません。また、oobeまたは関連会社の株式または証券の売却または購入、あるいは販売に依存する契約または投資の決定の基盤となる部分または事実またはその表示を構成するものでもありません。

このホワイトペーパーに記載されている情報は、販売または購入を行う契約または契約を構成するものであり、法的拘束力またはその他の方法で提供される契約または契約を提供することを意図しないものです。

いかなる者も、oobeの買収に関し、いかなる契約または拘束力のある法的なコミットメントを締結する義務を負うものではなく、このホワイトペーパーでは、いかなる仮想通貨またはその他の支払も受け入れません。oobeの販売および購入契約および継続的な所有は、oobeを購入および継続するための条件（以下、「契約条件」）を定めた別個の契約条件のセットに基づいて、お客様に個別に提供するか、Webサイトで提供する必要があります。契約条件がこのホワイトペーパーと矛盾する場合は、本契約条件が優先されます。

Obee Networkおよび関連団体は、契約条件に明記されている場合を除き、oobeの所有者に一切の権利または義務を負いません。

このホワイトペーパーに記載されている目標は、予測される状況によって異なる場合があります。チームはこのホワイトペーパーのすべての目標を達成するように努力しますが、Tokenを購入したすべての個人およびチームは自己責任でリスクを負うことになります。ドキュメントの一部は、プロジェクトの進行に合わせて新しいバージョンのホワイトペーパーで調整される場合があります。チームは、Webサイトに公開したり、新しいバージョンのホワイトペーパーを公開したりすることで、更新されたコンテンツを公開します。

oobeチームおよびbeeチームは、法的に認められている範囲内で、表明、保証、および承諾を行うものではありません（このホワイトペーパーの内容の正確性、完全性、適時性または信頼性、oobeが発行するその他の情報またはoobeチームを含むがこれらに限定されるものではありません）。このホワイトペーパーに記載されている内容は、oobeまたはoobeネットワークの将来のパフォーマンスまたはポリシーに関する記述、保証、約束、保証を行うものではありません。参加者による直接的または間接的な損害は、法的に認められている最大の範囲内であることを明確

に示すために、会社は責任を負わないものとします。 obee、obeeチーム、関連団体、およびサービスプロバイダは、間接的な責任を負いません。 特殊、付随、間接的またはその他（いずれか一方の当事者による違約または不注意による責任を含むがこれらに限定されない）または収益、収益または利益の損失、および使用またはデータの損失による損失このホワイトペーパーまたはobeeまたはobeeチームによって公開されたその他の情報またはコンテンツのいかなる部分（誤りまたは脱落を含むがこれらに限定されない）または関連するその他のコンテンツを使用します。 obeeの潜在的な購入者は、obeeの販売チーム、obeeチーム、およびobeeチームに関連するすべてのリスクと不確実性（財務上および法的リスクと不確実性を含む）を慎重に検討し、評価する必要があります。

このホワイトペーパーにサードパーティから取得した情報が含まれている場合、obeeはその情報の正確性や完全性を個別に検証しません。 また、ここに記載されている内容、またはここに記載されているコメント、予測、予測、または予測が変更された場合、obeeは、このホワイトペーパーを修正、修正、または更新する義務はありません。 また、読者またはその受領者に通知したり、後で不正確になったりすることもあります。

obeeはObee Networkプラットフォーム上商品ではありません
のパフォーマンスツールであり、投資
人。 obeeトーケンは、いかなる司法管轄下においても証券を構成することを意図しないものです。
。 いかなる種類の通貨（暗号化された通貨を除く）、債券、株式または株式、権利、オプション、
デリバティブを含むがこれらに限定されない、いかなる種類の通貨であっても、そのような債
権証明書については、株式または株式の権利、差益を確保する目的または損失を回避するために
設計されたその他の契約、団体投資計画の単位、商業信託の単位、商業信託の派生手段、または
その他の証券または証券のいずれかのカテゴリに基づく権利。

obeeは所有権やコントロールではありません。 Tokenの制御は、Obee Networkまたはobeeアプリケーションの所有権を表すものではありません。 また、Tokenは、obeeおよびobeeの適用に関する意思決定への参加、制御、または権限を個人に与えるものではありません。

リスクの説明

Obee Networkの開発、メンテナンス、運用にはリスクがあり、その多くは開発者の管理下にありません。 お客様は、次のリスクを理解し、同意するものとします：

市場リスク

暗号化や法定通貨価値の不利な変動、Obee Networkプラットフォームが否定的に採用されたことによるobeeの効用低下、ビジネス関係や知的財産権所有権の問題、Obee Networkプラットフォームが機能しなくなる可能性、Obee Networkが解体される可能性など、多くの原因が考えられます。

obeeおよびobeeプラットフォームは、サードパーティのプロトコルおよびアーキテクチャー（ビットコインプロトコル、エーテルベースのプロトコルなど）に基づいているため、あらゆる障害、障害、または関連するサードパーティのプロトコルまたはアーキテクチャーの破棄によって、obeeおよびobeeプラットフォームに対応することができます。 暗号学や技術の進歩（量子コンピューティングの発展を含むがこれに限定されない）の進歩は、関連するサードパーティをサポートするパスワードの合意メカニズムを無効にするため、obeeおよびobeeプラットフォームに未知のリスクをもたらす可能性があります。

リスクの管理

ブロックチェーンの発展はまだ早いため、世界には募集過程における先行要求、取引要求、情報開示要求、ロック要求などに関する法規文書がない。 また、現時点で政策がどのように実施されるかは不透明であり、これらの要因はいずれもプロジェクトの発展と流動性に不確実な影響を与える可能性がある。 ブロックチェーン技術はすでに世界の主要な国家の監督管理の主要な対象になっており、例えば監督管理主体が手を出したり影響を与えたりすると、obeeアプリやTokenはその影響を受ける可能性があり、例えば法令の使用制限、Tokenは制限され、obeeアプリやTokenの発展を阻害したり、直接的に停止したりする可能性がある。

競合上のリスク

現在、ブロックチェーン分野の事業が多く、競争が非常に激しく、市場競争と事業運営に対する強い圧力が存在している。 obee プロジェクトは多くの優秀なプロジェクトの中で、広く認められ、自分のチーム能力、ビジョン計画などの方面と連携しているだけでなく、市場の多くの競争者ないしは寡頭の影響を受けて、その間に悪性競争に直面する可能性がある。 ブロックチェーン技術に基づいて人間の仕事のスキルをつなぐインセンティブ型のプラットフォーム。

人材流出リスク

obeeチームには、活気に満ちた強力な個人チームが集結しています。 これらのチームはobeにブロックチェーン分野の経験豊富なベテラン従業員、そして豊富な経験を持つ技術開発者を惹きつけました。 obeeプラットフォームの進化は、既存のテクノロジーチームスペシャリストコンサルタントとの継続的な連携に依存します。 これらのコンサルタントは、それぞれの分野で専門知識と専門知識を持っている可能性があります。 どんなメンバーの損失も当たる可能性があります。 beeプラットフォームまたはその将来の成長に悪影響を及ぼす可能性があります。 将来的には、コアな離職やチーム内での衝突がobeeに悪影響を与える可能性も排除しない。

技術的リスク

暗号学の迅速な発展、あるいは量子コンピューターの発展、あるいは解読のリスクをbeeプラットフォームにもたらし、Tokenが失われる可能性があります。 プロジェクトの更新中に脆弱性が発見された場合、直ちに修正される可能性がありますが、影響がない保証はありません。

ハッキングのリスク

obeeは、マルウェア攻撃、サービス拒否攻撃、Sybil攻撃、マルウェア、smurfing、スプーフィング、コンセンサスベースの攻撃の一貫性など、ハッカーや他の組織による攻撃を受けるリスクがありますが、これらに限定されるものではありません。 また、サードパーティやobeeは、プラットフォームやobeeのコアインフラストラクチャに脆弱性を導入しようとする可能性があり、obeeプラットフォームやobeeに悪影響を与える可能性があります。 これらの脆弱性が発見された場合、その脆弱性を修正するための措置が直ちに取られますが、何の影響もないという保証はありません。

未保険損失リスク

個人保険に加入するために特別に加入していない限り、obeeには保険は適用されません。 公共事業の価値の損失や損失が発生した場合、beeは公的保険会社や個人保険を相手に訴訟を起こすことはありません。 銀行や金融機関の口座とは異なり、obeeや関連するブロックチェーンネットワークに保存されている口座は通常、保険の対象にはなりません。 公的個人組織は、いかなる場合でも損失を保証するものではありません。

製品の共通利益が限られるリスク

obeeプラットフォームは、大量の個人や他のエンティティによって使用されていないか、分散エコシステム（たとえばobeeプラットフォーム）の作成や開発において公衆の利益が限られている可能性があります。 このような使用や興味の欠如は、obeeプラットフォームの発展にマイナスの影響を与え、obeeトークンの潜在的な効用にマイナスの影響を与える可能性があります。

ガバナンスの欠如によるリスク

obeeはobeeプラットフォームまたはobeに対していかなるガバナンス権利も提供しないので、obeeプラットフォームまたはobeeに関連するすべての決定は、obee Networkによって一意かつ絶対的な裁量に基づいて決定されます。 これには、obeeプラットフォーム上のサービスおよびエコシステムを停止して、obeeがobeeプラットフォーム上で使用するエコシステムを作成して販売したり、obeeを

販売または清算することが含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらの会社の意思決定は、oobeプラットフォームやoobeトークンに悪影響を与える可能性があります。

ガバナンスの欠如によるリスク

oobeプラットフォームは、個人や組織のお客様（ユーザーやアプリケーションを含む）に分散クラウドストレージサービスを提供する場合があるため、クラウド内のデータストレージに関連するさまざまなリスクにoobeプラットフォーム（およびそのサービス）が影響を受けやすくなります。oobeプラットフォーム（およびそのサービス）には、サイバー攻撃やその他の悪意のある活動によって脅かされる可能性のある機密情報や機密情報の大量保存が含まれる場合があります。同様に、oobeプラットフォームとそのサービスが停止し、このような攻撃や悪意のある活動が発生した場合、ファイルが一時的に使用できなくなる可能性があります。ユーザーは、oobeプラットフォームに接続されている可能性のあるさまざまなハードウェアおよびソフトウェアを使用できるため、相互運用性に障害が発生したり、これらのサードパーティ製プラットフォームを統合できなかったりすることで、oobeが制御できないサードパーティ製のシステムおよびデバイスを使用または停止できない可能性があります。oobeプラットフォームとそのサービスは、ますます停止のリスクにさらされる可能性があります。また、oobeプラットフォーム上のエコシステムには、追加のセキュリティホールがあり、oobeプラットフォームとエコシステムに悪影響を与える可能性があります。これは、所有するすべてのoobeトークンの将来の有効性に影響を与える可能性があります。

フォークに関連するリスク

oobeプラットフォームはいくつかのオープンソース要素に基づいており、oobeはoobeプラットフォームの開発、マーケティング、運営、その他の分野を独占することはありません。どのエンティティでも、個別にパッチを開発したり、oobeプラットフォームにアップグレードしたりできます。また、十分な割合のoobe所有者を介してこれらのパッチを受け入れたり、アップグレードしたりすると、2つ以上の異なるネットワークが発生する可能性があります。oobeプラットフォーム上のコミュニティは、それぞれ異なるネットワークをサポートする場合があります。分岐ネットワークの一時的または永続的な存在は、oobeプラットフォームやoobeの操作に悪影響を与える可能性があります。

税待遇

Obee Networkの税務上の特徴は定かではありません。oobeの購入、所有、および使用に関して独自の税務上のアドバイスを求める必要があります。これは源泉徴収税、所得税、および税務申告の要件などの税務上の問題を引き起こす可能性があります。

流動性不足

Obee networkには従来の市場がなく、またoobeの販売がoobeの活発化や流通市場につながらない可能性があります。oobeはoobeプラットフォームのネットワーク内でのみ使用されるため、何らかのoobeの流動性リスクが存在する可能性があります。

初期開発リスク

oobeプラットフォームは現在開発中であり、大量の開発が必要であることを理解して受け入れてください。最終版が発表されるまでの間に予期せぬ大きな概念、テクノロジーとビジネスの変化が発生するため、デジタル資産の拒否、仮想通貨またはoobeの価格、予測不可能な技術的困難、およびアクティブな開発資金の不足など、oobeプラットフォームの開発が計画通りに実行または実装されない可能性があるリスクを理解して受け入れてください。

不完全な情報開示

oobeプラットフォームは現在開発中であり、アルゴリズム、コード、コンセンサスメカニズム、その他のさまざまな技術仕様やパラメータが頻繁に更新および変更される可能性があります。oobeプラッ

obeeプラットフォームは現在開発中であり、アルゴリズム、コード、コンセンサスメカニズム、その他のさまざまな技術仕様やパラメータが頻繁に更新および変更される可能性があります。 obeeプラットフォームの開発に関するホワイトペーパーやその他のマーケティング資料（状況に応じて）は公開されていますが、obeeプラットフォームに関する最新の重要な情報が記載されています。ただし、必要に応じて、obeeプラットフォーム上のobeeプラットフォームのエコシステムの進化と成長に合わせて調整および更新することができます。 obeeプラットフォームが分散しているため、obeeはobeeプラットフォームの開発に関するすべての詳細情報（進捗状況やマイルストーンを含むがこれらに限定されない）をお客様に提供する義務がない場合があります。 obeeトークンを購入、保有、使用することで、流出する可能性のある情報が不足していることを受け入れることができます。

その他の不明なリスク

上記のリスク以外にも、創設チームによって言及されなかったり、予見されていなかったりするリスクがあります。また、他のリスクが突然発生したり、上記のような様々なリスクと結びついたりする可能性があります。したがって、参加者にはチームの背景を十分に理解してもらい、決定を下す前にプロジェクトの全体的なフレームワークと構想を理解しておくことをお勧めします。

**2019 © obee Network
INTERNATIONAL INC.
ALL RIGHTS RESERVED.**